

エネルギー消費性能計算プログラム (Ver.3.3β) における更新の内容

旧バージョン (Ver.3.2) からの変更点は、次の通りです。

● β1→β2 (令和4年8月5日) ●

<全般>

1. 2022年10月に施行される新しい建築物エネルギー消費性能誘導基準 (建築物省エネ法)、建築物の低炭素化誘導基準 (エコまち法) に対応するため、以下の更新を行いました。
 - 「基準一次エネルギー消費量」の計算方法を更新しました。
 - Web インタフェースの計算結果画面の出力項目を更新しました。

以上

●β1（令和4年7月20日）●

<外皮>

2. 外皮性能の評価方法において、「当該住戸の外皮面積を用いず外皮性能を評価する（ここで計算）」を選択した場合、以下の入力項目が追加されました。
 - 住戸の種類において、「床断熱住戸」または「床断熱住戸と基礎断熱住戸の併用」を選択した場合、「その他の床の温度差係数」の入力項目が追加されました。
 - 住戸の種類において「床断熱住戸」または「床断熱住戸と基礎断熱住戸の併用」を選択し、かつ浴室の断熱構造において「床断熱」を選択した場合、「浴室の床の温度差係数」の入力項目が追加されました。

<暖房>

3. 主たる居室の暖房設備機器または放熱器の種類に、「温水床暖房（ルームエアコンディショナーの併用）」が追加されました。

以上

共同住宅等の計算結果集計プログラム (Ver.3.3β) における更新の内容

旧バージョン (Ver.3.2) からの変更点は、次の通りです。

● β1→β2 (令和4年8月5日) ●

1. 2022年10月に施行される新しい建築物エネルギー消費性能誘導基準 (建築物省エネ法)、建築物の低炭素化誘導基準 (エコまち法) に対応するため、以下の更新を行いました。
 - Web インタフェースの計算結果画面および PDF ファイル出力項目を更新しました。

以上

●β1（令和4年7月20日）●

2. 一次エネの評価方法で「住戸部分」を選択した場合、共用部分の計算結果PDFのアップロード画面を表示しないように変更しました。
3. Web インタフェースのレイアウトを一部修正しました。

以上